

Yahoo! MAP、自動車のナビゲーション機能が「Apple CarPlay」に対応

～ iPhoneをサブディスプレイとして表示できる機能を搭載 ～

～ 高速道路走行時にインターチェンジや
サービスエリア、パーキングエリアなどの
各種情報をリアルタイムで表示可能に ～

<https://map.yahoo.co.jp/promo/>

ヤフー株式会社（以下、Yahoo! JAPAN）が提供する無料で利用できる地図アプリ「Yahoo! MAP」（iOS版）は本日、「Apple CarPlay」（以下、「CarPlay」）に対応（以下、本対応）しました。

また、本対応により、「Yahoo! MAP」と同じ操作で目的地設定やルート検索ができるほか、iPhoneをサブディスプレイとして使用できるため、メインディスプレイに表示されている直近の案内ポイント以外の、ルート上のすべての案内ポイントをリストで表示、確認できます。



近年、インターネットに接続できる機能を搭載したコネクテッドカーの普及が進んだことで、スマートフォンを接続して使用するディスプレイオーディオを搭載した自動車も増加しています。国内自動車メーカーでも新型車への標準装備化が進んでおり、ディスプレイオーディオで利用できるマップアプリの需要は今後さらに高まることが予想されます。

そのような背景から今回、「Yahoo!カーナビ」（※1）に続き、「Yahoo! MAP」の自動車ナビゲーション機能を「CarPlay」に対応し、車での移動をより快適にサポートします。

本対応により、iPhoneを「CarPlay」対応のディスプレイオーディオに接続し、「Yahoo!

MAP」を起動すると車載機器に最適なインターフェイスでのルート表示および案内ができます。

「CarPlay」接続時のiPhone側の操作は「Yahoo! MAP」の通常操作と変わらないため、ユーザーは、新たに操作を覚えることなく、目的地設定、ルート検索、ナビの実行、そして、ラーメンマップやいちご狩りマップなどのテーママップや登録スポットから目的地検索もできます。

(画像1)

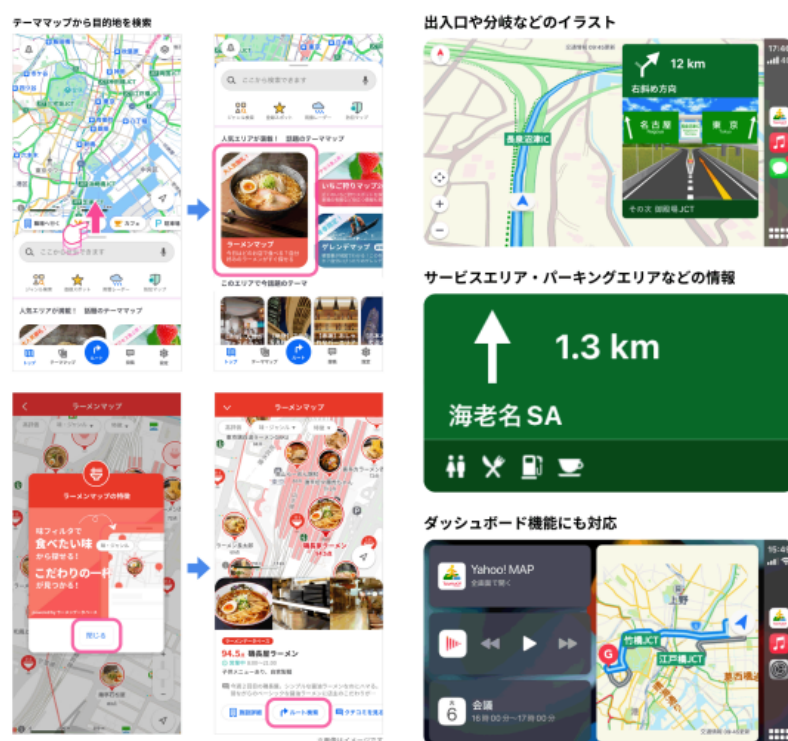
また、「Yahoo!カーナビ」でもユーザーから好評を得ている機能と同様、高速道路を走行する際は、高速道路の出入口や分岐、インターチェンジ情報をイラストなどで表示します。(画像2)

また、サービスエリア・パーキングエリアなどの情報もアイコンで表示され、ガソリンスタンドや飲食店の有無もアイコンで確認できます。

さらに、「Yahoo! MAP」でナビゲーションしながら、音楽再生アプリの操作などを一つの画面で分割表示・実行できるダッシュボード機能にも対応しているため、画面を切り替えることなく、シームレスに音楽操作などができます。今春には「Android Auto」への対応も予定しています。

(画像1) 例：ラーメンマップ

(画像2)



「情報技術のチカラで、日本をもっと便利に。」をミッションに掲げるYahoo! JAPANが提供する「Yahoo! MAP」は、今後もユーザーからのニーズが高い機能の提供や移動に関する情報を正しく、わかりやすく、迅速にお知らせしていくために、機能拡充や改善を行い、ユーザーの利便性向上に努めていきます。

■「CarPlay」使用イメージ

1.iPhoneを「CarPlay」対応の車載機器に接続します

iPhoneを「CarPlay」対応の車載機器に接続



2: 「Yahoo! MAP」アプリを起動します

「Yahoo! MAP」アプリを起動



3: 車載機器またはiPhoneから目的地を検索します

目的地を検索



4:ルート案内が開始し、車載機器の画面では次の案内ポイントのみが表示され、iPhoneの画面では経路全体の案内ポイントがリスト表示されます。

ルート案内（一般道）



ルート案内（高速道路）



※1：Yahoo!カーナビ、iPhoneと連携する車載統合システム「Apple CarPlay」に対応
<https://about.yahoo.co.jp/pr/release/2019/04/16a/>

※「Apple CarPlay」は米国もしくはその他の国や地域におけるApple Inc.の商標です。